※令和４年度以降入学生用

学校番号	3005

令和５年度　建築科

教科	工業	科目	建設技術	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	「建築実習２」（実教出版）、「学校作成教材」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

年間を通じて木材の加工技術（主に大工技能）や工法について学習します。
実習では、のみ、かんな、のこぎりなどの木工道具、電動工具を使用するので、常に安全への配慮を行ってください。
木構造の各部材名や仕口や継手について復習しておいてください。

2　学習の到達目標

・建築工事(木工事)の方法・仕組み・木工技術について基礎的な知識・技術を身につける。
・建設工事において、場面に応じた木工道具(鑿、鉋、鋸)、電動工具を思考・判断し、正しく扱うことができる。
・木材の加工技術について自ら学ぶことで、技術者としての責任感や倫理観について、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築物の構造や建築材料、加工法に関する基礎的な知識や技術を身につけ、現代社会における建築物の構造や建築材料、加工法の意義や役割を理解している。合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身につけ、適切に活用している。	建築物の構造や建築材料、加工法に関する基礎的な知識や技術の習得をもとに、建築物の設計や施工をする際に生じる諸問題の解決をめざして自ら思考し、判断したり創意工夫したりする能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現している。	建築物の構造や建築材料、加工法に関心をもち、これらに関する基礎的な知識や技術の習得に意欲をもって取り組むとともに、建築物の設計や施工に活用しようとする態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	木工道具の扱い方	木工道具について ・両刃鋸の使い方 （横・縦・斜め挽き） ・ノミの扱い方 ・研ぎの方法	a:木工道具の扱い方や加工法に関する諸問題の解決をめざして自ら思考・判断・創意工夫する能力を身につけている。加工法に関する基礎的な知識や技術を習得している。 b:木工道具の扱い方や加工法の意義や役割を理解し表現することができる。 c:木工道具の扱い方や加工法に関心をもち、建築物の設計や施工に活用しようとする態度を身につけている。	学習状況の観察 課題作品 レポート	学習状況の観察 課題作品 レポート	学習状況の観察 課題作品 レポート
	木造継ぎ手の製作	腰掛あり継ぎ/腰掛かま継ぎ ・材料準備（寸法取り、切断） ・切断加工 ・組立	a:継ぎ手に関する諸問題の解決をめざして自ら思考・判断・創意工夫する能力を身につけている。基礎的な知識や技術を習得している。 b:継ぎ手に関する意義や役割を理解し、表現することができる。 c:継ぎ手に関心をもち、建築物の設計や施工に活用しようとする態度を身につけている。	学習状況の観察 課題作品 レポート	学習状況の観察 課題作品 レポート	学習状況の観察 課題作品 レポート
	木製品の製作	木製品の製作 ・課題説明、班分け ・材料準備（寸法取り、切断） ・切断加工 ・組立	a:製品を製作するにあたり必要な構造や材料、加工法に関する基礎的な知識や技術を習得している。 b:木製品の構造や材料、加工法における諸問題の解決をめざして自ら思考・判断・創意工夫するとともに表現する能力を身につけている。 c:木製品の構造や材料、加工法に関心をもち、設計や加工に活用しようとする態度を身につけている。	学習状況の観察 課題作品 レポート	学習状況の観察 課題作品 レポート	学習状況の観察 課題作品 レポート

表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度